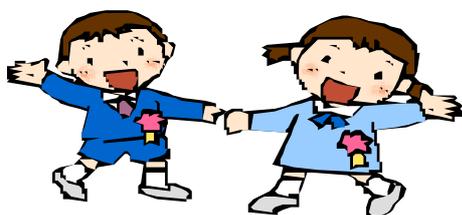


1年生6名 仲間入り!

4月8日(木)、第6回高瀬小学校入学式が行われ、新入生6名が高瀬小学校の1年生となりました。入学式では、子どもたち一人一人の名前が担任の織田恵子先生から点呼され、大きな声で返事をする事ができました。新入生とは思えない落ち着きぶりで、小学校の生活に慣れるのも早いのではないかと思います。

入学式に関しても、卒業式同様に、厳かな中にも緊張している1年生を温かく迎えようという在校生の思いがカタチに現れたとてもよい式でした。特に、歓迎の思いを込めた全校合唱の「夢見るジャンプ」は、「元気があって感動した」と、来賓の方々にお褒めの言葉をいただきました。またまた「たかせっ子」を誇らしく思いました。

式の後に行われた「1年生を迎える会」では、初めに、2年生が「高瀬小学校の紹介」と「演奏(子犬のマーチ)」で会を盛り上げてくれました。堂々とした話し方や、一人一人の演奏の完成度の高さから、1年でこんなに成長するんだと改めて感激しました。2年生のみなさん、これからも「一番身近なお兄さん・お姉さん」として、1年生が安心して生活できるように見守ってください。





入学式 式辞

ここ高瀬の里でも、春の訪れを知らせるふきのとうが道ばたに顔を出し、桜のつぼみもだいふ膨らみ始めてきました。命が芽吹き、命が輝きを増す季節が、また巡ってまいりました。

1年生、6名のみなさん、ご入学おめでとうございます。先ほど、担任の織田恵子先生が、みなさんの名前を呼んだ時、元気に返事ができましたね。とてもらっぱでした。「小学校でがんばるぞ!」という気持ちが伝わってきて、もう立派な高瀬小学校の一年生だと思いました。

みなさんの後ろにいるお兄さん・お姉さんや、先生、校務員さんも、みなさんと同じように、どんな楽しいことができるか、ドキドキ、わくわくしながら、みなさんが入学してくるのを待っていました。みなさんが学校のことで、心配していることも、優しく教えてくれますので、安心してください。

高瀬小学校、1年生のみなさんに、これから頑張ってもらいたいことを、三つお話します。よく聞いてくださいね。

一つ目は、「優しい心」です。学校には、楽しいことがいっぱいあります。毎日、ワクワク・ドキドキです。でも、時には、悲しい顔をしているお友達が、いるかもしれません。そんな時は、知らんぷりしないで、「どうしたの?」「大丈夫?」と、優しく声をかけてください。そして、声をかけてもらったら「ありがとう!」と言いましょ。優しい心は、高瀬小学校を幸せにする「魔法」です。「どうしたの?」「ありがとう!」の「魔法の言葉」で、笑顔いっぱいの学校にしてほしいと思います。

頑張ることの二つ目は…「あいさつ」です。あいさつは、人と人が仲良くなるための、大切な言葉です。みなさんが、あいさつをすると、まわりの人の心も元気になります。「おはよう!」「こんにちは!」「さようなら!」がしっかりとと言える1年生になりましょ。

最後の三つ目は…「ひとりでする」です。みなさん、今日の朝は、一人で起きましたか。服は自分で着ましたか。今までお家の人にしてもらっていたことでも、自分でできるようになりましょ。小学校に入って、自分でやれることを、たくさん増やしてくださいね。

「どうしたの?ありがとう!」「おはよう!こんにちは!」「ひとりでする」…この三つを頑張ってくださいね。

さて、保護者のみなさま お子さまのご入学、本当におめでとうございます。本人はもとより、ご家族の皆様も、今日の日を待ちわびていたことと思います。こども園に入園し、泣いたり笑ったりしながら、お子さんたちと共に歩み、支え、時には背中を押してこられたことと思います。そんなご家族の思いを、これからは、私たち高瀬小学校が、引き継ぎます。人と人との距離が近い家族のような学校ですので、上級生が1年生の面倒を、しっかりとみてくれます。どうか、安心して学校へ送り出してください。

それから、保護者の皆様にも、一つだけお願いがあります。それは「お子さんの話を、たくさん聞いてあげてください。」ということです。一日、学校で生活を送ってきたお子さんの思いを、どうかお家で、ゆっくりと受け止めてください。お家の人との会話は、子どもたちの心を安定させ、豊かにする力があります。どうか、家族みなさんでたくさんのお話をしてもらえればと思います。お願いいたします。

結びになりますが、ご多忙の所、羽後町 町長 安藤 豊様を始め、ご来賓の皆様においでいただきまして誠にありがとうございました。

6名の1年生の、元気いっぱいで、健やかな成長を願い、私たち職員一同、心を一つに、今年度も家族のような「温かい学校」を創っていきますので、この後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。令和3年 4月 8日 羽後町立高瀬小学校 校長 丹 俊章



素敵なプレゼントをいただきました!



学級活動の後に、サプライズで羽後町の地域協力隊の方々から、お菓子と文房具を詰め合わせた素敵なプレゼント（シュールチューテ：新1年生に両親や親戚、隣人から贈るドイツの風習）をいただきました。飾り・ラッピングは、「わくわく子ども教室」のお兄さん・お姉さんが一生懸命にやってくれました。今年初めての試みでしたが、1年生はみんなとてもうれしそうでした。

